



令和8年7月24日(金)発行

生徒会役員に1年次から8名選出！

7月8日(水)に行われた「生徒会役員選挙の結果、1年次から8名の役員が選出されました。夏休みから、これまで「新入生」だった皆さんがいよいよ三高の中核として本格的に活躍することになります。ここでは、皆さんの代表となる8名の新役員の抱負と決意を紹介したいと思います。



副会長 岩館 感太郎（1年6組）

この度、生徒会副会長に信任していただき、ありがとうございます。皆さんからいただいた信頼と期待を胸に、責任を持って全力で活動していきます。

そもそも学校はなんのためにあるのか。私は「逞しい人間性を養う場所」だと考えます。全校生徒が一人だけの学校はありません。学校全体で互いに協力して、目標に向かって成長し続ける場所こそが学校なのではないでしょうか。

私は、今回の公約で「アポロ11号」を取り上げました。では、なぜアポロ11号を取り上げたのか。それは、盛岡第三高等学校をより良くしていくために必要なことが、たくさん詰まった出来事だったからです。アポロ11号による月面着陸は、「冷戦の象徴」とも言われています。かつて、アメリカとソビエト連邦が宇宙開発競争を繰り広げる中、アメリカのジョン・

F・ケネディ大統領は「10年以内に人間を月に着陸させる」という国家目標を掲げました。その目標は多くの国民を勇気づけ、宇宙飛行士をはじめ、技術者や研究者をはじめとする多種多様な人々が力を合わせ、数えきれないほどの困難を乗り越えたことで、人類初の月面着陸という偉業が実現したのです。

我々三高生もアポロ11号のようにそれぞれの目標に向かって生活していると思います。しかし、一人では成し遂げることでできない目標もあると思います。宇宙飛行士だけでは月にたどり着けなかったように、学校もまた、一人だけで変えることはできません。共に助け合い、手を取り合いながら歩いていくことでより良い学校になると考えます。

私は副会長として、誰よりも前に立ち、一步を踏み出します。皆さんの声に耳を傾け、ときには悩み、ときには立ち止まりながらも、「この学校をもっと良くしたい」という思いを胸に全力を尽くします。そして、生徒全員で、互いを支え合える学校をつくっていきたいと考えています。

そして、「この学校でよかった」と胸をはって卒業できるように全員でより良い学校を築き上げていきましょう。



書記 南川 叶采（1年6組）

このたびは、生徒会書記として信任していただき、ありがとうございました。

私は、生徒一人ひとりが安心して自分らしく過ごし、三高生であることに誇りを感じられる学校にしたいと考えています。そのためには、生徒会役員だけが学校をつくるのではなく、生徒一人ひとりの思いや気づきを大切にしながら、みんなで学校づくりに取り組んでいくことが大切だと思います。

書記として、皆さんの声を丁寧に受け止め、役員や先生方と共有し、より良い学校生活につながるよう働きかけていきます。また、生徒会の活動や学校の情報を分かりやすく伝え、生徒会をより身近に感じてもらえるよう工夫していきます。

皆さんと一緒に考え、より良い盛岡三高を築いていけるよう、一年間責任を持って活動していきます。よろしくお願いします。

会計 大澤 徠愛（1年5組）

この度は、生徒会会計として信任していただき、ありがとうございます。生徒会会計として活動するにあたり皆さんからの信頼に応えられるよう、自覚と責任をもって活動していきたいと思っています。

私は、三高を一人一人が安心して過ごし、日々の学校生活を楽しく充実したものにできる学校にしていきたいです。そのために、会計として正確かつ丁寧な仕事を心がけ、学校行事や生徒会活動を支えていきます。また、生徒会執行部の一員として、皆さんの声に耳を傾け、それぞれの

意見を大切にしながら、よりよい学校生活の実現に向けて積極的に取り組んでいきたいです。

私の強みは、周囲の状況を見ながら、自分にできることを考え、行動に移せることです。この強みを生かし、周囲と協力しながら、その時々求められていることを考え、自ら行動できるよう努めていきます。

先輩方から多くのことを学びながら、自分の役割を果たすことはもちろん、三高全体をよりよくするために何ができるのかを考え、責任を持って行動していきます。

皆さん、よろしくお願いします。

副議長 菅原 大樹（１年２組）

この度は、信任ありがとうございました。これから、生徒会活動が始まっていきますので鋭意努力いたします。

私は公報、演説で言った通り無駄が嫌いです。今までも学校の行事などで不測の事態により進行がまごつき生徒全体の動きが止まってしまうということを見てきました。実際、私が中学校で生徒会をやっていたときにも、そのような事態を引き起こしたことがあります。こんなことになって得をする人は一人もいません。これらの原因は準備不足です。係が想定通りに進むと勝手に思い込み、こうなるかもしれないという可能性を一切考えていないからです。そのため今後の活動では成功を８割決めるとも言われる準備を徹底してやっていきます。ですが、どんなに準備をしても起こってしまうアクシデントというものがあります。その場合、こちら側でも早急に判断し行動しますが、皆さんの迅速な理解、対応が必要不可欠になります。その際は、どうか全体の無駄をなくすため、力を貸してください。

それでは皆さん、１年間よろしくどうぞ。



総務 佐々木 莉暖（１年１組）

このたびは、生徒会総務に信任していただき、ありがとうございました。

私は、誰もが安心して自分の意見を伝えられ、生徒一人ひとりの意見がより良い学校づくりに生かされる盛岡三高を目指したいと考えています。そのために、意見箱などを通して寄せられた声を丁寧受け止め、生徒会内で共有し、改善に取り組み、生徒の皆さんがより充実した学校生活を送れるよう活動していきます。生徒会だけですべての要望を実現することは簡単ではありません。だからこそ、生徒の皆さんや先生方と協力し、実現可能なものから改善を進めていきたいと考えています。

生徒会総務として、生徒皆さんの意見に耳を傾け、より良い学校づくりに貢献できるよう努めます。１年間最後まで責任を持って取り組み、皆さんの期待に応えられるよう全力を尽くします。よろしくお願いいたします。

総務 黒羽 駿（１年２組）

この度は、生徒会総務として信任していただき、本当にありがとうございます。皆さんからいただいたこの大きな信頼に、これからは言葉だけでなく、日々の実際の行動でしっかりと応えていきます。

私が目指すのは、生徒の皆さんの全員が今よりもっと快適に、そして効率よく過ごすことができる学校です。そのために、まずは皆さんが日々の学校生活の中で感じている「こうなったらいいな」という小さな声を、私から積極的に聞きに行くことから始めます。どんなに小さな意見も決して聞き流さず、先生方や他の役員メンバーともしっかりと連携して、スピード感を持って形にしていきます。

「この人に信任して本当によかった」と全員に心から実感してもらえるよう、私は誰よりも身近なサポーターとして、全力で皆さんの学校生活をサポートしていくことをここに誓います。これからどうぞよろしくお願いします。



監査委員 佐々木 駿介（１年２組）

この度は、生徒会監査委員として信任していただき、心より感謝しています。皆さんから託された信頼に応えるため、責任を持って職務に取り組んでいきます。私は、三高を「安心して挑戦できる学校」にしたいと考えています。挑戦には失敗もありますが、それを受け止められる環境があれば、生徒はもっと前向きに動けるはずです。そのためには、生徒会の運営が公平で透明であることが欠かせません。監査委員として、行事や部活動の予算が適切に使われているかを丁寧に確認し、必要な改善を提案することで、生徒会への信頼を高めていきます。また、支出内容をわかりやすく整理し、生徒がいつでも確認できる形で共有することで、透明性のある生徒会を実現したいと考えています。裏方の役割ではありますが、学校全体の挑戦を支える基盤として、誠実に職務を果たしていきます。

監査委員 久田 栞那（１年６組）

この度は、生徒会監査委員として信任していただき、ありがとうございます。皆さんからの信頼や期待に応えるため、責任を持って、盛岡三高をよりよくするための活動を精一杯やっていきます。

私は、盛岡三高を「誰ひとり取り残すことなく、よりよくするために意見を活発に出し合い、全員で創りあげる」学校にしたいです。生徒会からでは見えないような課題を、意見箱等を活用しながら、見つけ出し改善していきます。

生徒会監査委員として、公平な立場から監査を行い、生徒会や各委員会をサポートしていきます。皆さんの期待に応えられるよう、精一杯頑張ります。

これからよろしくお願いします。